

## ○プロジェクト研究 0529-1

### 研究課題 「いばらき「心の活力」推進ネットワークの構築」

○研究代表者 作業療法学科教授 土澤 健一  
○研究分担者 看護学科助教授 池田 智子  
(4名) 医科学センター講師 山川百合子  
看護学科講師 富田 美加  
作業療法学科助手 今井 忠則

○研究年度 平成18年度  
(研究期間) 平成17年度～平成19年度 (3年間)

#### 1. 研究目的

研究課題名にある「心の活力」は、「(狭義の精神病に限らない) 種々の精神的問題を抱えた人々の社会活動への参加意欲」という概念の象徴として採用した。したがって、対象は多岐にわたるが、精神的要支援者の社会活動への参加意欲推進という目的を共有する研究者間のネットワーク構築を図る。本研究プロジェクトの研究サブテーマは次のとおりである。

- ①生活の構造と主観的幸福感に関する検討
- ②労働者のメンタルヘルスサービス提供方法に関する研究—産業保健と地域保健の連携によるアプローチの検討—
- ③茨城県における精神障害の地域支援を考える
- ④アルコール関連問題における情報提供のあり方
- ⑤サクセスフル・エイジングの心理・作業療法的検討

今年度は、平成17年度から開発してきた精神保健領域における人的ネットワークの構築をめざすインターネットホームページのアクセス状況や情報利用環境の調査から、今後インターネットによる関連情報の流通を促進する上での課題を検討することを目的とした。

#### 2. 研究方法

- 1) 茨城県内の関連機関に対する情報ネットワーク環境についての調査
- 2) ホームページへのアクセス状況の分析

なお本研究の実施にあたっては、プライバシーの保護や匿名性の保持に十分な配慮を行った。

#### 3. 研究結果

- 1) 茨城県内の関連機関に対する情報ネットワーク環境についての調査

現状においては、茨城県内の公的機関における情報ネットワーク環境については整っていない状況であった。

- 2) ホームページへのアクセス状況の分析

月単位・日時単位の推移とアクセス頻度ならびにページ閲覧状況などの分析から、ホームページ公開後のアクセス傾向が明らかとなった。

茨城県を中心とした精神保健に関するホームページの開設とそのアクセス状況の分析から、インターネットによる関連情報の流通を促進する上で、公的機関における情報ネットワーク環境の未整備をふまえたネットワーク拡大を推進することが今後の重要な課題であることが明らかとなった。

#### 4. 考察 (結論)

平成20年3月に報告書を作成する予定である。

#### 5. 成果の発表

富田美加, 池田智子, 山川百合子, 今井忠則, 土澤健一. 茨城県を中心とした精神保健に関するホームページの開設とそのアクセス状況の分析. 第26回日本社会精神医学会 (横浜). 2007年3月.

#### 6. 参考文献

- ・石原睦子：看護婦がホームページを開いて。精神科看護27(4), 28-32, 2000.
- ・海老原竜二, 飯倉康郎, 中川彰子, ほか：強迫性障害のホームページによる啓蒙、教育、治療 - その3 - . 研究助成報告集12, 31-34, 2000.
- ・久保田英幹, 八木和一：メンタルヘルスのためのセルフヘルプグループ 日本てんかん協会. 臨床精神医学 (増刊号), 327-329, 2000.
- ・日本精神病院協会雑誌編：〈特集〉精神科医療とIT. 日本精神病院協会雑誌20, 869-929, 2001.
- ・布施泰子：精神科・神経科領域の診療におけるインターネットの利用. 精神医学44, 464-465, 2002.
- ・富高辰一郎：首都圏の精神科医療連携のための医療者向けサイト<http://www.psyhp.net>. 心と社会114, 28-31, 2003.